

起こりやすい事故

つい気がゆるみがちな家の中、大人では問題ない場所・物でも、赤ちゃんや子どもにとっては多くの危険が潜んでいます。普段から気をつけることで予防できる事故があります。実際に、事故の経験をしてしまった保護者の80%以上が、「少しの気配りをすることで、事故を防ぐことができた。」とアンケートで回答しています。赤ちゃんや子どもを守るために、家の中こそ、気をつけましょう。

ダイニング

テーブルクロスなど赤ちゃんが引っ張って物が落ちそうなものはないですか？

おはしやフォーク、歯ブラシなどをくわえたまま歩かせたり、走り回ったりさせていませんか？

ベランダ

内側から鍵をかけて締め出されないよう注意していますか？

柵が低いなど転落の危険性はないですか？

よじ登って柵を越えてしまいそうな場所はないですか？

キッチン

コンロや鍋、やかん、卓上の料理、ポット、炊飯器の蒸気口などやけどの原因に近づかない対策はできていますか？

びんなど割れやすいものが床に置いてありませんか？

包丁などの器具は使用後に必ず片付けていますか？

リビング

テーブル上のクリップやコイン、タバコや灰皿、ボタン電池など誤飲しそうなものはありますか？

アイロンやストーブなど触れてやけどしそうなものはありますか？

ソファやベッドの柵など高いところからの転落を防げていますか？

コンセントは感電防止対策がされていますか？

その他

引き戸など手を挟みそうな場所の対策はされていますか？

カーテンのひもなど窒息の原因になりそうなものは取り外していますか？

玄関

玄関の段差は危険な高さではありませんか？

戸外がすぐ道路に直面しているなど危険が想定される場合、簡単に出不入できるように対策がされていますか？

浴室・洗面所

洗剤や化粧品など誤飲しそうなものが手の届くところにありませんか？

浴槽に水をためっぱなしにしていますか？

浴室の床やタイルは滑りにくくしてありますか？



落下・転落



ふとした瞬間にソファに寝かせたり、ベッドの柵を上げっぱなしにしたりすると、赤ちゃんが少し動いただけで転落してしまう可能性があります。落下や転落が予想される場所には寝かせず、赤ちゃんが動いても安全であるよう気をつけましょう。

溺水



赤ちゃんはたった数センチの水でも溺れてしまうことがあります。ちょっとだから大丈夫という慣心が事故を引き起こします。浴槽に水をためるときはドアを開けっ放しにしない・水をためっぱなしにしない、目を離さない、を徹底しましょう。

やけど



興味があるものは何でも触ってしまうのが赤ちゃんです。特にポットや炊飯器の蒸気は想像以上に高温で、気付かずやけどをしてしまうことがあります。電氣毛布や使い捨てカイロなども、長時間同じ部位を温めていると低温やけどをしてしまう可能性があるので注意してください。

誤飲



特に多いのがたばこの誤飲です。たばこが捨てられている水を飲んだり濡れたたばこを誤飲してしまうと、たばこに含まれる毒性の強いニコチンが水に溶けだしており、急激に体内で吸収されてしまうため、早急な処置が必要になります。その他、口に含むだけで危険なものも多くあります。細心の注意を払いましょう。

中毒110番
(無料)

つくば中毒110番 (365日 午前9時～午後9時まで) 029-852-9999

大阪中毒110番 (365日 24時間対応)…………… 072-727-2499

たばこ専用回線 (テープによる情報提供)…………… 072-726-9922



出産～子育て
スタート

医療機関を
利用する

子どもの健康

子育て講座・
教室

子育てサークル

子どもを
あずける

子育てを
広げよう

気になる
相談はこころへ

障がい児
家庭への支援

ひとり親
家庭への支援

子育て
お役立ち情報

子育て
支援マップ